

第3期宮城県障害福祉計画の実績

第7章 地域生活支援事業の実施に関する事項

項目	事業名	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度実績			備考
		箇所数	利用者数等	箇所数	利用者数等	箇所数	利用者数等	箇所数	利用者数等	箇所数	利用者数等	箇所数	利用者数等	決算額(千円)	
(1)専門性の高い相談支援事業	発達障害者支援センター運営事業	1	相談件数 1,301件	1	相談件数:(延べ) 1,773件	1	相談件数:(延べ) 1,875件	1	相談件数(延べ): 1,789件	1	相談件数(延べ): 1,343件	1	相談件数(延べ): 1,224件	24,000	センター開設以降、相談件数は増加傾向にあるが、発達障害支援の中心機関としての期待も大きい。将来的なニーズを見据えた支援体制の充実を図っていく必要がある。
	障害者就業・生活支援センター事業	5	登録者数:844人 就職者数:134人 相談件数:(延べ) 17,647件	6	登録者数:1,128人 就職者数:167人 相談件数:(延べ) 19,092件	7	登録者数:1,415人 就職者数:206人 相談件数:(延べ) 24,188件	7	登録者数:1,637人 就職者数233人 相談件数:(延べ) 27,987件	7	登録者数:1,790人 就職者数250人 相談件数:(延べ) 27,521件	7	登録者数:1,921人 就職者数:281人 相談件数:(延べ) 28,739件	34,145	平成23年度に栗原圏域に新たに設置し、7つの障害保健福祉圏域すべてに設置済みとなった。登録者数は、前年対比131人の増、相談件数は、前年度比1,218人増の28,739人となるなど、各地域における障害者就労支援等の核として、センターの役割が期待されているものと認識している。 引き続き、関係機関と連携を図り、就業に伴う日常生活、社会生活上の支援を行う必要がある。
	高次脳機能障害者支援事業	8	相談者数 83人	8	相談者数:166人	8	相談者数:193件	拠点病院 1 拠点機関 1	相談件数 (保健所における相談も含む) 直接相談 延べ 266件 間接支援 延べ 217件	拠点病院 1 拠点施設 1	相談件数 (保健所における相談も含む) 直接相談 延べ 502件 間接支援 延べ 176件	拠点病院 1 拠点施設 1 地域支援拠点病院 1	相談件数 (保健所における相談も含む) 直接相談 延べ 256件 間接支援 延べ 216件	1,606	高次脳機能障害への支援にあたっては、在宅で生活しながら、医療から福祉までの各種サービスが利用できることが望まれている。 引き続き、地域支援拠点病院の整備とともに、関係機関との連携を図っていく必要がある。
(2)広域的な支援事業	都道府県相談支援体制整備事業	1	アドバイザー派遣 14回 研修会開催 4回	1	アドバイザー派遣: 22回 研修会開催:2回	1	アドバイザー派遣: 5回 研修会開催:2回	1	アドバイザー派遣: 2回	1	アドバイザー派遣: 5回	1	アドバイザー派遣: 4回 研修会開催:1回	572	市町村等の要請に応じ、研修会の開催や個別のフォローアップを行う等、地域自立支援協議会の充実を図るよう努める。
	都道府県自立支援協議会	1	会議開催 2回	1	会議開催:1回	1	会議開催:1回	1	会議開催:2回	1	会議開催:2回	1	会議開催:2回	111	県内全域に設置された自立支援協議会に対し、活動を充実させるために、助言や情報交換等を実施していく。
(3)その他	知的障害者居宅介護職員初任者研修 (H24年度まで知的障害者ホームヘルパー養成研修事業)	-	受講者数:45人 就労者数:11人	-	受講者数:47人 就労者数:10人	-	受講者数:25人 就労者数:9人	-	受講者数:44人 就労者数:15人	-	受講者数:13人 就労者数:7人	-	受講者数:20人 就労者数:4人	2,473	平成25年度から居宅介護職員初任者研修として実施している。近年特別支援学校2年生の受講が増えているため、一見受講者数に対しての就労者数は減少しているように見えるが、3年生の受講者のうち約半数が就労している。
	手話通訳者等養成研修事業	-	修了者数:20人	-	修了者数:2人	-	修了者数:9人	-	修了者数:8人	-	修了者数:6人	-	修了者数:5人	1,338	登録手話通訳者数として63人(H27.3.31現在)が登録されており、市町村コミュニケーション支援事業の担い手として活動している。
	盲ろう者通訳・介助員養成研修事業	-	受講者:15人	-	受講者:14人	-	受講者:19人	-	受講者:43人	-	受講者:15人	-	受講者:16人	1,090	盲ろう者のコミュニケーション及び移動支援のため必要となる技術等の講習を実施。本研修による登録者91人(H26.9.1現在)が活動している。
	身体障害者・知的障害者相談員活動強化事業	-	受講者数:130人	-	受講者数:88人	-	受講者数:126人	-	受講者数:113人	-	受講者数:83人	-	受講者数:130人	130	毎年、研修会の内容の充実を図っており、相談員の能力の向上に大きな役割を果たしている。
	情報支援等事業	-	(例) 字幕入り映像貸出: 211本 点字県広報:460部/ 月	-	(例) 字幕入り映像貸出: 67本 点字県広報:440部/ 月	-	(例) 字幕入り映像貸出: 0本 点字県広報:400部/ 月	-	(例) 字幕入り映像貸出: 66本 点字県広報:350部/ 月	-	字幕入り映像貸出: 17本 点字県広報:300部/ 月	-	字幕入り映像貸出: 65本 点字県広報:300部/ 月	43	視覚、聴覚それぞれの障害特性により、必要な方法での情報支援を行った。
	障害者IT総合推進事業	-	相談件数:845件 講座受講人数:104人	-	相談件数:846件 講座受講人数:111人	-	相談件数:1,040件 講座受講人数:106人	-	相談件数:792件 講座受講人数155人	-	相談件数:1,190件 講座受講人数131人	-	相談件数:1,278件 講座受講人数136人	17,780	相談件数は昨年に比べて増加し、引き続き相談機関として果たす役割は大きいものと推察される。また、講習会の参加人数も昨年度から増加している。
社会参加促進事業	-	(例) オストメイト社会適応 訓練:12回 音声機能障害者 発声訓練:12回	-	(例) オストメイト社会適応 訓練:12回 音声機能障害者 発声訓練:12回	-	(例) オストメイト社会適応 訓練:12回 音声機能障害者 発声訓練:11回	-	(例) オストメイト社会適応 訓練:12回 音声機能障害者 発声訓練:12回	-	(例) オストメイト社会適応 訓練:12回 音声機能障害者 発声訓練:12回	-	(例) オストメイト社会適応 訓練:12回 音声機能障害者 発声訓練:12回	533 1,400	それぞれの障害特性を踏まえ、日常生活上必要となる訓練を実施し、社会参加の促進に向けた有効策となっている。	